



平成 25 年 7 月 30 日

株式会社 日本取引所グループ
株式会社 日本経済新聞社

共同開発中の新指数に係る骨子について

本年 5 月 14 日公表の通り、株式会社日本取引所グループ及び株式会社東京証券取引所(「JPX グループ」)と株式会社日本経済新聞社(「日経」)は、新たな株価指数の共同開発について合意し、現在、検討を進めております。その進捗について、「新指数の骨子」としてまとめましたのでお知らせいたします。

今後、引き続き市場関係者のご意見も参考にしながら詳細を詰め、年末までに算出を開始することを目標に開発を進めてまいります。

記

新指数の位置づけ	<p>“新指数”は、企業の資本効率性や収益性、投資者からの視点を意識した経営の重要性に着目し、ROE をはじめとした企業の業績指標・データに基づいて銘柄を選ぶことが最大の特徴です。東証市場第一部の全銘柄を構成銘柄とする TOPIX や、市場流動性の高さを主体に 225 銘柄を選ぶ日経平均株価とは、指数設計の考え方や銘柄選定基準が大きく異なります。</p> <p>“新指数”は、JPXグループ傘下で統合された現物株市場の上場会社を対象として選ばれた構成銘柄全体の企業価値の変化を時価総額の推移により示します。なお銘柄選定に際しては、銘柄ごとの市場流動性も考慮することで、新指数に連動した資産運用を可能にするための実務的要請にも応えることを目指します。</p> <p>“新指数”が、資本の効率的活用など上場企業の価値向上、変革の促進に寄与するとともに、内外の投資者の皆様にとっての新たな投資ベンチマークとしてお役立ていただくことで、日本の株式市場の活性化や質的向上につながることを期待するものです。</p>
-----------------	--

新指数の骨子(案)

以下は現時点での計画であり、今後の検討により変更することがあります。

銘柄選定方法	<p>【対象市場】</p> <p>JPX 現物株市場上場銘柄(東証市場第一部、市場第二部、マザーズ、JASDAQ)</p> <p>【選定基準】</p> <p>以下の2つの視点を軸に定量的な指標を総合的に評価して選定。なお、財務数値などを使った定量的な指標以外に、定性的要素(ディスクロージャーに関する事項など)も銘柄選定に加味することを検討</p> <ul style="list-style-type: none">・ 企業業績に基づく指標(資本効率性に関する指標(例:ROE)などを想定)・ 市場流動性指標(市場での取引量や市場価値などを想定) <p>【銘柄入れ替え】</p> <p>原則として年1回、銘柄定期入れ替えを実施。</p> <p>※ 銘柄選定の項目や方法については、できる限り客観的に測定や判断が可能な指標を活用するなど選定プロセスの透明化を図る方針。</p>
構成銘柄数	運用の利便性を考慮しつつ一定の市場指標性を確保できる銘柄数とし、最大で500銘柄程度
算出方法	時価総額加重型(浮動株に基づく時価総額が基本)
名称	未定
構成銘柄及び算出要領	本年秋に構成銘柄及び銘柄選定基準を含めた算出要領を公表
指数値の算出・配信	本年末までに東京証券取引所の相場報道システムからリアルタイム(1秒毎)で配信

【お問い合わせ】

株式会社 日本取引所グループ

広報・IR部

電話: 03-3666-1361

Email: index@tse.or.jp

株式会社 日本経済新聞社

経営企画室 広報グループ

電話: 03-3270-0251

Email: index@nex.nikkei.co.jp

以上